

有機フッ素化合物への対応



PFOS、PFOA、有機フッ素化合物とは？

PFOS、PFOA とはそれぞれパーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、パーフルオロオクタン酸(PFOA)の略称で、有機フッ素化合物の一部です。PFOS、PFOA を含むパーフルオロアルキル化合物とポリフルオロアルキル化合物を合わせてPFASと略称されています。

PFOS や PFOA は撥水・撥油性や耐熱性、耐薬品性、化学的な安定性などの有用な特性を持っていることから、1940 年代から工業や家庭用品に利用されてきました。しかし、その有用性の反面、環境中で分解しにくく、環境残留性や生物蓄積性があることが知られており、動物実験における健康影響が報告されていることから、近年、各国で健康への影響や環境リスクが議論されています。



企業局の取り組み

企業局では、県民の皆様から大きな関心を寄せられている PFOS 等問題について、様々な取り組みを行っています。企業局 HP にて、より詳細な取り組みを記載しておりますので、詳しくは HP をご確認ください。 <https://www.eb.pref.okinawa.jp/water/82/3017>



有機フッ素化合物 (PFOS・PFOA) ページ

調査	対応
<ul style="list-style-type: none">○水源モニタリング調査○嘉手納基地周辺地下水調査○比謝川取水ポンプ場周辺及び川崎取水ポンプ場周辺のPFOS等検出状況調査○PFOS等吸着に適した活性炭の調査	<ul style="list-style-type: none">○中部河川等からの取水停止・抑制○活性炭処理による濃度低減○PFOS等吸着能力の高い高機能活性炭の導入（防衛省補助）○嘉手納基地内調査のための立ち入り申請



北谷浄水場浄水の健康への影響について

北谷浄水場浄水は、水道法第4条に基づき設定されている水質基準等を満たしており、暫定目標値(50ng/L)より低い※レベルにあることから、水道水の安全性は確保されているものと考えています。

(※令和4年度北谷場水場の浄水におけるPFOSとPFOAの合計値は、平均3ng/L(< 1~6ng/L))

